

計上事業

(単位：千円)

事項名	1 1 月補正予算	現計予算額 補正後予算額	内 容	担当課
飼料価格 高騰緊急 対策事業 費	重点交付金 95,259 95,259	<u>95,259</u> 190,518	飼料価格高騰により経営が圧迫されている畜産農家 に対して緊急的な支援を実施 ・「配合飼料価格安定制度」生産者積立金への支援 補助額 200円/トン ・単体飼料購入農家に対する飼料購入費への支援 補助額 200円/トン	畜産課
畜産クラ スター構 築事業費	国 庫 533,918 533,918	<u>249,956</u> 783,874	地域の畜産生産基盤を強化するため、中心的な経営 体に取り組む収益性向上に必要な施設整備を支援 補助率 1/2以内	畜産課
肉用牛経 営緊急支 援事業費	重点交付金 60,152 60,152	<u>109,604</u> 169,756	物価高騰に起因した肉用子牛価格の急激な下落によ り経営が圧迫されている繁殖農家に対して緊急的な支 援を実施 ・国の支援交付金の対象にならない経費の一部を支援 補助率 国事業の発動基準価格と九州・沖縄ブロック 平均価格との差額の1/8以内 ・受精卵移植を活用して高能力な母牛を整備する経費 の一部を支援 補助率 1/2以内 (上限100千円/頭)	畜産課

事項名	1 1 月補正予算	現計予算額 補正後予算額	内 容	担当課
肉用牛生産構造強化促進事業費	<p style="text-align: right;">70,160</p> <p>重点交付金 70,160</p>	<p style="text-align: center;">— 0</p> <p>70,160</p>	<p>社会情勢に左右されない県内和牛生産構造強化に向けた畜産農家の経営転換を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに肥育に取り組む繁殖農家に対し、県内産肥育素牛を導入する経費の一部を支援 補助額 100千円/頭 ・県内子牛市場から県内産肥育素牛を導入する経費の一部を支援 補助額 80千円/頭 ・分娩間隔短縮をサポートする機器の導入を支援 補助率 1/2以内 ・飼料用とうもろこし等の自給飼料生産拡大に向けた取組を支援 補助率 1/4以内（国庫の上乗せ） 	畜産課

畜産課 計 759,489千円

飼料価格高騰緊急対策事業費

事業の目的

【畜産課 予算額 95,259千円】

- 飼料価格高騰により経営が圧迫されている畜産農家に対して「配合飼料価格安定制度」に加入する生産者積立金の一部、及び単体飼料購入費の一部を緊急的に支援

事業の概要

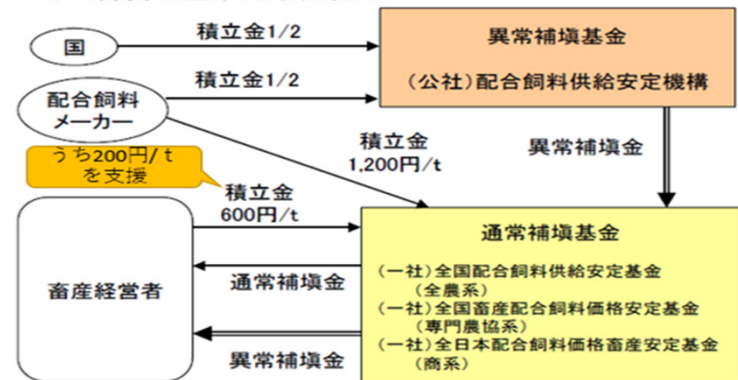
生産者積立金に対する支援

- ◆ 配合飼料価格安定制度の生産者積立金に対する支援
補助額：200円/t(定額)
(生産者積立金増加分(200円/t)相当)

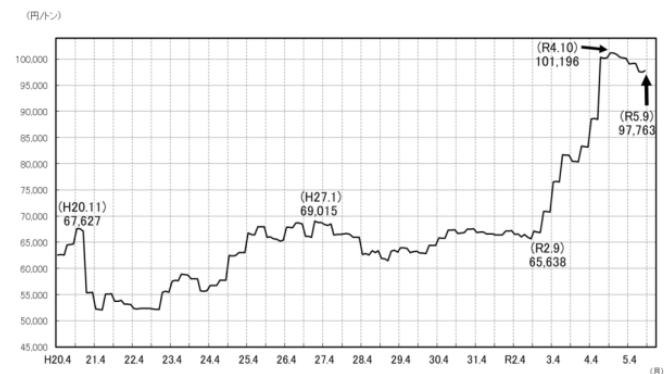
単体飼料購入費に対する支援

- ◆ とうもろこしなど単体飼料の購入費に対する支援
補助額：200円/t(定額)

○ 制度の基本的な仕組み



○ 配合飼料工場渡価格の推移



資料：(公社) 配合飼料供給安定機構「飼料月報」
注：配合飼料価格は、全畜種の加重平均価格である(令和5年9月の価格は速報値)

畜産クラスター構築事業費

【畜産課 予算額 533,918千円】

事業の目的

○地域の畜産生産基盤を強化するため、中心的な経営体が行う収益性向上に必要な施設整備を支援

事業の概要

収益性向上に必要な施設整備の支援

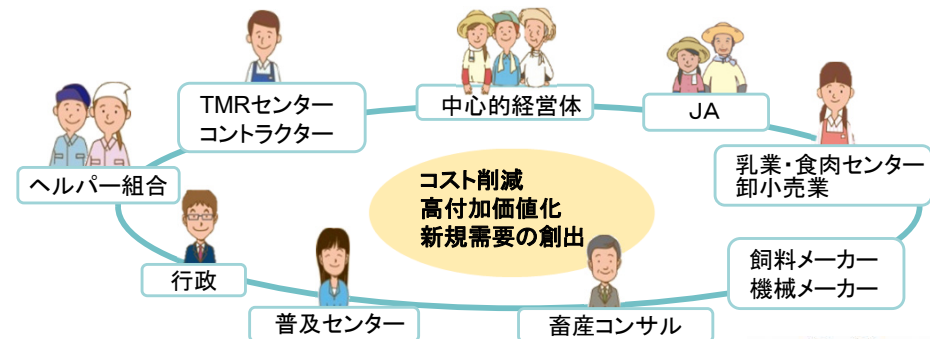
○施設等の整備

◆補助対象者

- ・畜産クラスター計画に位置付けられた中心的経営体

◆補助率: 1 / 2以内

＜畜産クラスターのイメージ＞



⇒ 地域の関係者で協議

⇒ 地域の特性に応じた増頭支援



畜産クラスターによる

- ・地域の連携
- ・増頭・規模拡大



収益性向上

肉用牛経営緊急支援事業費

事業の目的

【畜産課 予算額 60,152千円】

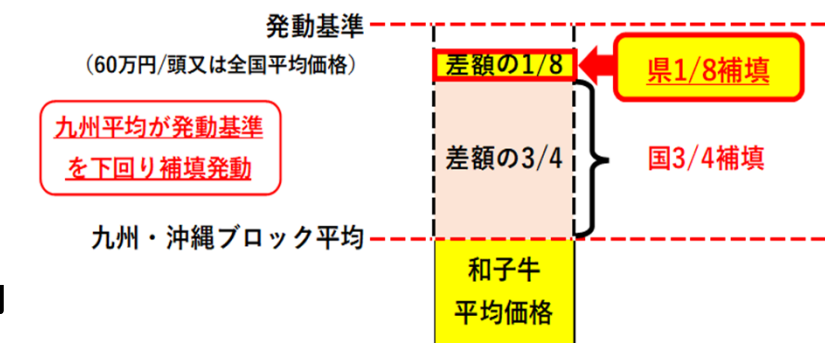
○物価高騰に起因した肉用子牛価格の急激な下落により経営が圧迫されている繁殖農家に対して緊急的な支援を実施

事業の概要

肉用子牛価格の下落に対する支援

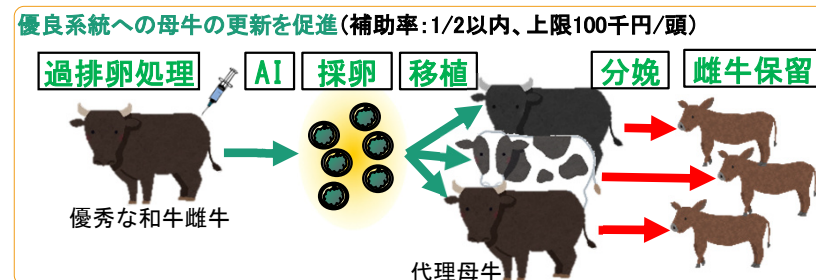
1. 県内繁殖農家に対し、国の支援交付金の対象にならない経費の一部を支援

- ◆補助対象者：県内肉用牛繁殖農家
- ◆補助率：国事業の発動基準価格と九州・沖縄ブロック平均価格との差額の1/8以内



2. 優良系統への更新促進：受精卵移植を活用して高能力な母牛を整備する経費の一部を支援

- ◆補助対象者：県内繁殖農家、県内の採卵事業所等
- ◆補助率：1/2以内（上限100千円/頭）



(新)肉用牛生産構造強化促進事業費

事業の目的

【畜産課 予算額 70,160千円】

○社会情勢に左右されない県内和牛生産構造強化に向けた畜産農家の経営転換を支援

事業の概要

肉用牛生産に対する体質強化支援

(1) 肉用牛経営の体質強化

1. 繁殖経営の体質強化：繁殖農家が新たに県内産肥育用素牛を導入する経費の一部を支援
◆補助対象者：新たに肥育に取り組む繁殖農家（黒毛・褐毛）
◆補助額：100千円/頭
2. 長崎生まれ長崎和牛生産拡大：県内子牛市場から県内産肥育用素牛（黒毛・褐毛）を導入する経費の一部を支援
◆補助対象者：県内肥育農家（長崎和牛生産者）
◆補助額：80千円/頭

3. 肉用牛生産性向上：分娩間隔短縮をサポートする機器の導入を支援
◆補助対象者：県内繁殖農家
◆補助率：1/2以内

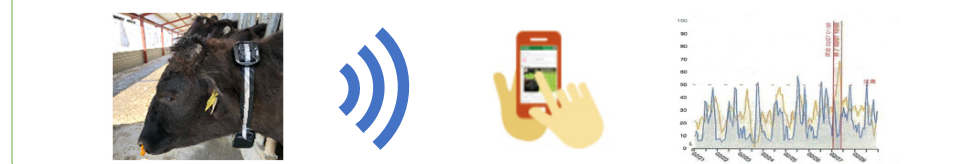
(2) 自給飼料生産拡大に向けた支援

4. 飼料用とうもろこしの自給飼料生産拡大に向けた取組を支援
◆補助対象者：県内飼料生産組織等
◆補助率：1/4以内（国庫の上乗せ）

1と2の事業：経営多角化による経営安定と長崎生まれ長崎育ちの長崎和牛拡大



3の事業：分娩間隔短縮のためのICT技術活用(補助率：1/2以内)



4の事業：自給飼料生産拡大(補助率1/4以内)

